

～ 方南図書館 実習報告 ～

大宮中学校 2年生 3名のレポートです。

10月27日(水)～10月29日(金)3日間に図書館の仕事を体験しました。

◆ 実習で取り組んだ仕事 ◆

配架・書架整理・本の修理
・交換便・雑誌の装備



◆ 図書館でのお仕事はどうだった？ ◆

- ・本の配架や整理をするときに関連している作品を近づけて、より多くの本を知れるようにしようと工夫していました。
- ・本をそろえる作業が難しかったです。棚の一番上から下まで見るから足腰がつかったです。
- ・思っていたより、足腰がつかないいい運動になった。
- ・配架や書架整理をきっかけに様々な本を知り知らなかった本と出会うことができた。
- ・普段自分が利用している図書館でも知らないことがたくさんあってとてもワクワクしました。特に保存庫に入ったことが一番ワクワクしました。
- ・どの仕事もこのような機会がなければ体験できない内容で、毎日の時間が過ぎるのがあっという間で、とても楽しかったです。

◆ 実習生のおすすめの本 ◆

『少年たちの戦場』

那須 正幹/著 はた こうしろう/絵
新日本出版社
請求記号：913ナ

実習生が絵を描いてくれました。



『あやかし夫婦は今世こそ幸せになりたい。』

「浅草鬼嫁日記」シリーズ

友麻 碧/著 KADOKAWA

請求記号：BGユ

この本は、シリーズ本で様々な話があります。その一つがこの話です。浅草に住む女子高校生の茨木真紀と同級生の天酒馨の話で、その二人にはある秘密があります。それは、二人とも前世の記憶をもち真紀は平安時代にその名を轟かせた鬼の姫茨木童子、馨は夫の酒吞童子で、二人は前世で人間ではなかったのです。そんな二人があやかし関連の厄介ごとを解決していきます。



『毎年、記憶を失う彼女の救いかた』

望月 拓海/著 講談社

請求記号：BGモ

毎年、記憶を失ってしまう主人公千鳥と「1カ月で僕の正体を当ててみろ」という彼の二人の物語。
読み進めていくにつれ、彼の境遇や正体が分かっていき、衝撃の結末を迎えます。

